

令和5年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 観賞用ユーカリ産地拡大事業費
 (2) 事業期間 令和4年度～令和6年度
 (3) 所管 農林水産振興部 農業振興課 地域農業育成室
 (4) 予算額 1,601千円

2 事業目的

中予地域は、観賞向けの品種で人気の高いユーカリ・グニーの全国有数の産地であり、豊かな香りとインテリア性の高さから生産拡大の要望が市場等から寄せられている。

そこで、課題となっている水田転換ほ場における排水性の改善や苗供給体制の構築をはじめとした安定生産技術の確立を図るとともに、市場等を通じ消費者ニーズに応じた新品種の導入を検討し、ユーカリ産地拡大に取り組む。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 中予地域ユーカリ生産対策協議会の開催

生産対策協議会(図1)を2回開催し、苗の安定供給と産地拡大に向けた技術実証や生産動向について協議した。



図1 生産対策協議会

(2) ユーカリ・グニーの産地拡大

・苗供給体制の確立

挿木及び育苗講習会を開催した(計3回、延べ35人)。

・安定生産技術の確立

排水性改善技術の検討

水田転換ほ場の通路にアースオーガ(穴掘機)で深穴を掘り、水はけの改善を図るとともに、JAと連携し技術を普及させた。

整枝方法の検討

収量及び品質向上のため、春のせん定時の主枝本数について検討した(実証ほ2か所)。



図2 左上からパルブラ、アップルボックス、ポポラス、グロブロス

(3) 新規ユーカリ品種の導入

新規候補として4品種(図2:パルブラ、アップルボックス、ポポラス、グロブロス)を試作し、地域適応性及び市場評価について検討した。

4 成果（何がどう変わったか）

- 生産者の挿木技術が向上し、発根率が従来の0.1%に対して最大で30%まで高まった。
- 排水性改善効果は有用性を確認できた。
- 排水性を改善した延べ17名の栽培者のほ場では、株枯れが抑制され、栽培面積15.5ha(前年比112%)、収量8,969千本/10a(前年比108%)、生産量1,392千本(前年比122%)となった。また、生産者は125人(前年比111%)となった。
- 新規候補のうち、3品種(パルブラ、アップルボックス、ポポラス)は有望なことから市場評価等の調査を継続し選定することとした。